

【直接応募 Direct Application】

奨学金等名称 Name of Foundation (or Name of Scholarship)			
More Jobs Better Lives 一般財団法人 MJBL Scholarship			
採用数 Offer	募集人数(全体) Number of Openings (total)		本学よりの採用実績(前年度) Number of Grantees at Chiba Univ. (previous year)
	若干名		通知なし No information
所属 Department	学部生、大学院生修士課程1, 2年生 (2021年4月時点) Under Graduate, Graduate Students 1st or 2nd year (In April 2021)		
国籍 Nationality	アフガニスタン、バングラデシュ、ベナン、ブータン、ブルキナファソ、ブルンジ共和国、カンボジア、中央アフリカ共和国、チャド、コモロス、コンゴ民主共和国、ジブチ、エリトリア、エチオピア、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ共和国、ハイチ、キリバス民主党员共和国、ラオス、レソト、リベリア、マダガスカル、マラウイ、マリ、モーリタニア、モザンビーク、ミャンマー、ネパール、ニジェール、ルワンダ、サントメ・プリンシペ、セネガル、シエラレオネ、ソロモン諸島、ソマリア、南スーダン、スーダン、タンザニア、東ティモール、トーゴ、ツバル、ウガンダ、イエメン、ザンビア Afghanistan, Bangladesh, Benin, Bhutan, Burkina Faso, Burundi, Cambodia, Central African Republic, Chad, Comoros, Democratic Republic of the Congo, Djibouti, Eritrea, Ethiopia, Gambia, Guinea, Guinea-Bissau, Haiti, Kiribati, Lao People's Democratic Republic, Lesotho, Liberia, Madagascar, Malawi, Mali, Mauritania, Mozambique, Myanmar, Nepal, Niger, Rwanda, Sao Tome and Principe, Senegal, Sierra Leon, Solomon Islands, Somalia, South Sudan, Sudan, Tanzania, Timor-Leste, Togo, Tuvalu, Uganda, Yemen, Zambia		
主な応募資格等 Some of Eligibility Requirements	<ul style="list-style-type: none"> ・開発途上にある海外の国や地域の土壌や農業環境の修学や研究をしている者。または、開発途上にある海外の国や地域の農業に関するマーケティング等を選考している者 ・2021年4月時点で以下のすべての条件を満たしていること ①上記の国・地域からの来日中の留学生で、指導教授の推薦を受けられる者 ②学士課程は満30歳以下、修士課程は満35歳以下 ③日本語による面接が可能な者(2020年12月ごろ実施予定) ④日本での留学や将来の研究・経験を活かして、時刻の発展に貢献する意欲のある者 ⑤留学の目的または計画が明確で、修学の効果が期待できる者 <ul style="list-style-type: none"> ・Research Field <p>The applicant must be currently studying and/or researching pedology or agriculture. Applicants pursuing other academic fields (such as marketing or management related to agriculture) may also apply.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Qualifications for Applicants <p>Applicants shall meet all of the following requirements in April 2021.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Students or researchers who are recommended by their supervising professors or mentors 2. Applicant should be 30 years of age or younger (undergraduate) or 35 years of age or younger (graduate) 3. Able to participate in a Japanese interview as part of the application process (to be held in December 2020) 4. A person who wishes to use their studies and experience in Japan to contribute to the development of their home country 5. A person whose academic plans are clear and show prospect 		
	4		支給金額 Amount
助成対象期間	2021年4月から修了月まで		学部生(学士課程) 月額10万円 大学院生(修士課程) 月額12万円
	始 From	2021/4 (year/month)	
	至 To	2021年4月現在在籍している学部・大学院の修了月まで	
応募期間/締切日 Application Period / Deadline			
2020/10/1 ~ 2020/10/31			
問い合わせ先・書類提出 Contact / Address to Send Your Application			
More Jobs Better Lives 一般財団法人 http://mjbl.jp E-mail: obo@mjbl.jp			
特記事項 Note	<ul style="list-style-type: none"> ・申請希望者は以下のURLより募集要項や所定フォームを確認し、オンライン応募。 ホームページ http://www.mjbl.jp 事務局メールアドレス obo@mjbl.jp 		

掲示日: 2020/9/24

More Jobs Better Lives 公益財団法人

2020 年度

奨学生募集要項

外国人私費留学生対象

本財団は、人材育成、仕事創造、雇用創出の分野で支援を行い、世界中に仕事を創り、開発途上にある海外の国や地域の生活水準の向上に寄与することを目的として活動を行っています。

More Jobs Better Lives 公益財団法人

担当：奨学生事務局

E-mail: obo@mjbl.jp

HP： <https://www.mjbl.jp>

～はじめに～

本奨学金制度の目的は、以下の通りです。

- ・ これまでの就学や研究を活かし、開発途上国の生活水準の向上に寄与する人材の育成
- ・ 農業及びアグリビジネスに関連する人材の育成
- ・ 雇用機会を創出するために優れたリーダーシップを発揮する人材の育成
- ・ 基本的人間ニーズを満たすだけでなく、対象地域に適した方法を用いて、地球環境に配慮し、社会課題に対する創造的な解決策を立案および実践する人材の育成
- ・ 国籍、性別、信条に関係なく、アイデア、ソリューション、知識を共有し、MJBL ネットワークに参加し、プラットフォームを構築できる人材の育成

I_ 応募資格

下記の項目にすべて該当する者とする。

(1) 学部・研究分野／人物像（いずれかに該当する者）

- ・ 開発途上にある海外の国や地域の農業に関連する雇用、起業、事業開発、経営、マーケティング、地域コミュニティ、行政制度等に関する就学や研究を行っている者
- ・ 開発途上にある海外の国や地域の農業に関する就学や研究を行っている者
- ・ 開発途上にある海外の国や地域の生活水準の向上に関心のある者
- ・ 農産物の加工、販売、流通、保管などの事業に関心のある者

(2) 「国籍」と「ビザ」

①アフガニスタン、バングラデシュ、ベナン、ブータン、ブルキナファソ、ブルンジ共和国、カンボジア、中央アフリカ共和国、チャド、コモロス、コンゴ民主共和国、ジブチ、エリトリア、エチオピア、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ共和国、ハイチ、キリバス民主党员 共和国、ラオス、レソト、リベリア、マダガスカル、マラウイ、マリ、モーリタニア、モザンビーク、ミャンマー、ネパール、ニジェール、ルワンダ、サントメ・プリンシペ、セネガル、シエラレオネ、ソロモン諸島、ソマリア、南スーダン、スーダン、タンザニア、東ティモール、トーゴ、ツバル、ウガンダ、イエメン、ザンビアから来日し、文部科学省所轄大学の学部又は大学院に在籍する当該国の国籍を有する私費留学生

※日本国籍を有する者、研究生を除く

※経済協力開発機構の開発援助委員会が作成する開発途上国（DAC リスト）内「後発開発途上国」にあたる

② 2021年4月時点で、在留資格「留学：College student」を有する者

※「永住権」を有する者も含む

(3) 在籍学年・課程

2021年4月時点で、日本国内の大学1・2・3・4年、または日本国内の修士課程/博士課程の1・2年に在籍/在籍予定の外国人私費留学生（正規生に限ります）。

※交換留学生・国費留学生その他学費免除の対象となる留学生は応募できません。

(4) 年齢

2021年4月時点の年齢、学士課程は満30歳以下、修士/博士課程は満35歳以下の者

(5) 学業・健康

- ① 心身共に健康であり、かつ品行方正で学業成績が優秀な者
- ② 日本での留学や将来の研究・経験を活かして、自国の発展に貢献する意欲のある者
- ③ 留学の目的又は計画が明確で、修学の効果が期待できる者

(6) その他

- ① 正社員として就労していない者
- ② 経済的支援を必要とする者
- ③ 東京都内にて年2回程度開催される奨学生交流会に参加できる者

II_ 奨学金

(1) 支給額

学部学生（学士課程） 月額 100,000 円

大学院生（修士・博士課程） 月額 120,000 円

※奨学金の返還を要しません。

(2) 支給期間

開始：2021年4月から支給開始予定

終了：学部学生 2021年4月から在籍している学部の修了月まで

大学院生 2021年4月から在籍している大学院の修了月まで

※交換留学・留年の場合は支給停止になります。

(3) 支給方法

1ヶ月に一度、1ヶ月分を本人名義の口座に振り込む

(4) 奨学生の義務

◇毎月期限内にレポートの提出

- ・レポートは研究内容の紹介など500字程度

◇交流会の参加（入団式、卒団式を含む）

- ・国際理解と親善に関心を持ち、年2回開催予定の交流会への参加
- ・交流会は、主に東京で開催、交通費支給

◇年度末(進級時)に成績表の提出

または、指導教官が作成した研究等の実績が分かるレポートの提出
(指導教官による評価票等)

◇事務局との連絡

奨学金受給期間は、継続して日本国内に滞在し、期間中に1ヶ月以上日本国内を離れる場合は、出国1週間前までに事務局への通知・報告

III_応募方法

(1) 応募期間

2020年10月1日(木)～2020年10月31日(土)

※2020年10月31日必着

※応募状況により、締切りが前後する可能性がありますので、
早めの応募を推奨します。

(2) 募集人数

若干名

(3) 応募手続きについて

①応募入力フォームから応募する(オンライン申込)

※ホームページアドレス：<https://www.mjbl.jp>

②下記応募書類チェックリスト内の書類を郵送する

《提出宛先》

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-12-1 渋谷マークシティ W16階

More Jobs Better Lives 公益財団法人 奨学生事務局担当

応募書類チェックリスト

- 推薦状
(捺印、厳封)
- カラー証明写真 2 枚
(5 cm×3.5cm、正面脱帽無背景、3 ヶ月以内撮影)
- 在学証明の原本
(現在在籍中の学校の「在学証明書」/「在籍証明書」の原本)
- 合格通知のコピー
(予定進学先の合格通知をまだもらっていない場合や、現在在籍中の場合は提出不要)
- 在留カードのコピー
(表面と裏面 (両方) のコピー、カラーコピーでの提出)
- パスポートのコピー
(顔写真のあるページのコピー、カラーコピー)
- 成績証明書の原本
(直近 1 年間 (2 学期分) の成績が記載されているもの、1 年生の場合、前期分のみ提出)
- 家賃を明記した賃貸契約書のコピー
(寮の場合、寮費証明、もしくは領収書のコピーを提出、)
- ルームシェア等複数名で住んでいる場合、自分の負担分を明記)

以下は、ある場合のみ提出してください

- 日本留学試験の成績通知書のコピー
- 日本語能力試験 1 級 (N1) の成績証明書のコピー

IV_ 選考

- (1) 書類選考 11月上旬予定
 - 面接 12月上旬予定 (※日本国内の交通費支給)
 - ※使用言語は日本語です
 - 結果発表 12月下旬予定
 - ※ 面接は、来場面接の予定。
 - ただし、状況に応じてオンライン面接に変更の可能性有。
 - ※ 選考結果は、応募者全員にEメールにて通知いたします。
 - ※ 可否に関する電話等による問い合わせには、一切応じません。
- (2) 合格者
 - 交流会は1月下旬開催予定、参加必須

V_ 他奨学金・二重受給・受給期間中

- ① 弊財団は、他の奨学金合計の月額が10万円を超える重複受給を認めない。
(貸与型奨学金、学費免除及び一時金は除く)
- ② 弊財団奨学金と他奨学金に同時に合格した場合には、どちらの奨学金を受給するかを選択する。
- ③ 弊財団奨学金と同時に規定以上の他奨学金を受給した場合には、直ちに弊財団の奨学生資格が取り消され、重複期間中の奨学金を全額返済しなければならない。
- ④ 奨学金受給期間中に日本国内を2ヶ月以上離れる場合、その期間中の奨学金を支給しない。

VI_ 注意事項

弊財団の奨学生に合格後、あるいは弊財団奨学生として採用後、以下に該当する場合、及び奨学生としてふさわしくない行為があった場合は、その月をもって奨学金の支給を停止、もしくは打ち切りとなる。

<停止>

- ① 留学、休学、もしくは海外留学（交換留学を含む）した場合
- ② 病気その他の理由により修学または研究を継続できない場合

<打ち切り>

- ① 退学した場合
- ② 停学その他の処分を受けたとき
- ③ 提出書類及び届出事項に虚偽があった場合。
- ④ 毎月の奨学生レポートの提出が遅れ、または提出がない場合
- ⑤ 弊財団の交流会に出席がない場合（学業のための欠席、病欠以外は認めません）
- ⑥ 刑事事件、法律や社会秩序に反する行為を行った場合
- ⑦ 財団の名誉を傷つける行為をした場合
- ⑧ 学業成績が不良の場合（留年、または GPA2.3 以下）
- ⑨ 指導教員から修学または研究の継続が不相当とされた場合

以上

プライバシーポリシー（個人情報保護方針）

More Jobs Better Lives 公益財団法人（以下、当財団という）は、以下のとおり「個人情報保護方針」を定め、個人情報保護の仕組みを構築し、全職員に個人情報保護の重要性の認識と取組みを徹底させることにより、個人情報の保護を推進致します。

1. 法令の遵守

当財団は、個人情報保護に関する法令およびその他の規範を遵守し、個人情報を適正に取り扱います。

2. 個人情報の取得

当財団は、個人情報の取得に際してできる限りその利用目的を特定し明示するとともに、適法かつ公正な手段によって取得します。

3. 個人情報の利用

当財団は、取得の際に示した利用目的の範囲内で目的の達成に必要な限りにおいて、個人情報を利用します。また、個人情報を職員に取り扱わせる場合もしくは個人情報の取り扱いを第三者に委託する場合には、職員もしくは受託者に対して必要かつ適切な監督を行います。

4. 個人情報の管理

当財団は、利用目的の達成に必要な範囲内において、個人情報を正確かつ最新の内容に保つよう努めるとともに、その漏えい・滅失・き損の防止その他安全管理に必要なかつ適切な措置を講じます。

5. 個人情報の第三者提供

当財団は、法令等に定める場合を除き、事前に本人の同意を得ることなく個人情報を第三者に提供しません。

6. 個人情報の開示・訂正等・利用停止等

当財団は、本人から個人情報の開示もしくは訂正・追加・削除および利用停止・消去の申し出があった場合には、本人確認等必要な調査を行った上で速やかに対応します。

7. 個人情報の管理体制

当財団は、個人情報を適正に取り扱うための管理体制を構築し、個人情報を安全かつ適切に管理するとともに、職員の啓発や適切かつ迅速な苦情処理等の個人情報保護の推進に努めます。

2020年2月5日

More Jobs Better Lives 公益財団法人

More Jobs Better Lives Foundation

2020

Scholarship Program
Application Requirements
for Self-funded International Students

The MJBL Foundation provides support in the fields of human resource development, job creation, facilitating new employment opportunities, and contributing to the improvement of living standards in developing countries and regions overseas.

More Jobs Better Lives Foundation

Scholarship Program Office

E-mail: obo@mjbl.jp

HP : <https://www.mjbl.jp>

Introduction

The goals of this scholarship program are as follows:

- To support the development of human resources that can contribute to the improvement of the standard of living in developing countries by utilizing their past studies and research
- To support the development of human resources involved in agriculture and agribusiness
- To develop human resources who demonstrate superior leadership to create job opportunities
- In addition to meeting basic human needs, the Foundation aims to use methods suitable for the target area and develop human resources who are able to plan and implement creative solutions to social issues
- To build a platform for people who can share ideas, solutions, and knowledge, and participate in the MJBL network, regardless of nationality, gender, or creed

I Application Requirements

The following requirements are applicable to all applicants.

- 1) Area of Study • Research/ Ideal Candidate (Some or all may apply)
 - Those who are studying or conducting research on agriculture in relation to marketing, local communities, administrative systems applicable to employment, entrepreneurship, business development, management, etc. in developing countries
 - Those who are studying or conducting research on agriculture in developing countries and regions
 - Those who are interested in improving the standard of living in developing countries or regions
 - Those who are interested in the business of processing, selling, distributing, and storing agricultural produce
- 2) Nationality and Visa
 - ① Scholars with citizenship from the following countries are eligible to apply, provided they are attending an educational institution accredited by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology: Afghanistan, Bangladesh, Benin, Bhutan, Burkina Faso, Burundi, Cambodia, Central African Republic, Chad, Comoros, Democratic Republic of the Congo, Djibouti, Eritrea, Ethiopia, Gambia, Guinea, Guinea-Bissau, Haiti, Kiribati, Lao People's Democratic Republic, Lesotho, Liberia, Madagascar, Malawi, Mali, Mauritania, Mozambique, Myanmar, Nepal, Niger, Rwanda, Sao Tome and Principe, Senegal, Sierra Leone, Solomon Islands, Somalia, South Sudan, Sudan, Tanzania, Timor-Leste, Togo, Tuvalu, Uganda, Yemen, or Zambia.
 - ✕ Scholars with Japanese citizenship are not eligible.

- ② Applicants must possess “College Student” or “Permanent Resident” visa status in April 2021.
- 3) Registered School Year/Course
 - ① In April 2021, applicants must be registered in their 1st, 2nd, 3rd, or 4th year, if attending undergraduate school, their 1st or 2nd year of graduate school, OR their 1st or 2nd year if completing their doctorate.
 - ② Scholars planning to attend as full-time students in Japan may apply, providing they have been accepted to attend a Japanese university.
 - ③ Foreign exchange, government-sponsored, or other fee-exempt scholars are NOT eligible to apply.
- 4) Age
 - ① In April 2021, applicants should be 30 years of age or younger (undergraduate) or 35 years of age or younger (graduate/doctorate).
- 5) Academic and Health
 - ① Those who are of sound mind and body with a history of excellent academic performance
 - ② Those who are willing to contribute to the development of their own country by making use of their study abroad in Japan and future research and experience
 - ③ Those who have a clear purpose or plan for their research and the effectiveness of the results of their studies can be relied on
- 6) Others
 - ① Those who are not working as full-time employees
 - ② Those who need financial support
 - ③ Those who can participate in scholarship social gatherings held twice a year in Tokyo

II Scholarship Details

1) Payment Amount

Undergraduate (Bachelors) 100,000 yen/month
 Graduate (Masters or Ph.D.) 120,000 yen/month

※Repayment is not required.

2) Payment Period

Start : April 2021

End : Undergraduate until the month of graduation from the current institution

Graduate until the month of graduation from the current institution

※ Payment will be stopped in the event of participation in a study abroad or exchange program.

3) Payment Method

Bank transfer once per month to an account bearing the recipient's name

4) MJBL Scholar Obligations

◇ Monthly Reports

The report is a 500-character essay related to your studies.

◇ Scholarship Social Gatherings

Applicants should be willing to participate in approximately 2 gatherings a year in the spirit of fostering international/intercultural understanding between other successful applicants. The gatherings will be held in Tokyo and transportation fees will be covered by the Foundation.

◇ Academic Performance

The applicant must submit their transcript at the end of the school term to confirm their academic status and GPA OR doctoral students will submit a report from their advisor confirming the progression of their work and study.

◇ Communication with the Foundation

i.e. regarding the case in which an approved scholar will be outside of Japan for longer than one month. If the applicant leaves Japan for longer than 2 months, the Foundation will cease to award the scholarship during their absence.

III Application Process

1) Application Period

Thursday, October 1, 2020 to Saturday, October 31, 2020

※ Must arrive or be postmarked by October 31, 2020

※ Changes to the application deadline are possible, so apply in a timely manner.

2) Number of Successful Applicants

2 - 3 applicants

3) How to Apply

① Apply online using the form on our website <http://mjbl.jp>

② Prepare the documents outline in the checklist below and submit them by mail.

<<Application Address>>

〒150-0043 Tokyo-to, Shibuya-ku

Dogenzaka 1-12-1 Shibuya Mark City W16

More Jobs Better Lives Foundation

Scholarship Program Office

Submission Checklist

- Recommendation Letter
(Signed and sealed by the recommender)
- 2 color photos
(5cmx3.5cm, no background, taken within the last 3 months)
- Original Copy of Enrollment Verification Form
(Document that confirms you are a student at your current university)
- Copy of Acceptance Letter
(Not required if you have not yet received it or you are planning to attend the same university.)
- Copy of Resident Card
(Front and back, color copy)
- Copy of Passport
(Copy of page with photo, color copy)
- Original Transcript
(Last 2 semesters or (1st year students only) latest semester transcripts)
- Copy of Lease/Rent Agreement
(If you live in a dormitory, please submit documentation, i.e. a receipt.
If you with others, submit proof of your contribution.)

If you have them:

- Japanese Language School Transcript Copy
- Japanese Language Proficiency Test Score Copy (N1 Only)

IV Selection Process

- 1) Initial Review Early November
Interview Early December
 - ※ Transportation expenses provided within Japan.
 - ※ Interview conducted in Japanese.
- Results Late December
 - ※ The interview is planned to be in person.

However, depending on circumstances, an online interview may also be possible.

- ※ All applicants will be notified via email of the selection results.
- 2) Successful Applicants
Successful applicants are required to participate in a social gathering held in late January.

V Other Scholarships

- ① Our foundation does not accept applicants who are currently receiving more than 100,000 yen from other scholarship sources. (Those who are receiving loan-based scholarships may apply.)
- ② If the applicant applies for another scholarship that exceeds the limit at the same time as the MJBL scholarship, they must choose which to accept.
- ③ If an applicant is found to be receiving more than 100,000 yen from other scholarships during the award period, the applicant must pay back the amount that was awarded to them during that time in full.
- ④ If a scholarship recipient leaves Japan for more than 2 months, payments will be stopped.

VI Precautions

An applicant who has been successful in the selection process and confirmed as a scholarship recipient of our foundation may have their scholarship revoked if any of the following misbehaviors has been discovered:

Suspension

- ① the scholar participates in a separate study abroad program (including to countries outside of Japan) or takes a temporary leave of absence from school.
- ② the scholar is unable to continue their studies due to illness or other valid reasons

Termination

- ① the approved scholar withdraws from or is suspended by their academic institution
- ② the approved scholar is expelled by their academic institution
- ③ the approved scholar submitted false documents during the application process
- ④ the approved scholar frequently submits their monthly report late or does not submit it at all
- ⑤ the approved scholar does not attend the gatherings in Tokyo
(only school or illness related absences will be accepted)
- ⑥ the approved scholar breaks the law and/or disturbs public order
- ⑦ the approved scholar does anything to harm the reputation of the Foundation
- ⑧ the approved scholar's performance in school is inadequate
(for example, repeating a year or their GPA is lower than 2.3)
- ⑨ when an instructor determines the student to be ineligible to continue their studies and/or research

More Jobs Better Lives Foundation

Privacy Policy

The following privacy policy sets out how the More Jobs Better Lives Foundation (the "Foundation") uses and protects any information that you provide. The Foundation is devoted to ensuring that your privacy is protected. Should we ask you to provide certain information by which you can be identified, you can be assured that such information will only be used in accordance with this privacy statement.

1. Legal Compliance

The Foundation will strictly comply with Personal Information Protection Act and this Personal Information Protection Policy, when handling Personal Information. For the purpose of this Personal Information Protection Policy, "Personal Information" means information of a living individual which can identify the specific individual.

2. Acquisition of Personal Information

The Foundation will explicitly establish the purposes of use of Personal Information and notify and/or announce such purposes. The Company will acquire Personal Information in a lawful and appropriate manner.

3. Use of Personal Information

The Foundation will use Personal Information only within the scope of the purposes of use of Personal Information unless otherwise the consent of the principal identified by the relevant Personal Information is obtained or unless authorized by applicable laws.

4. Management of Personal Information

The Foundation will continuously take all measures necessary from technical and organizational point of view to prevent unauthorized access to personal data, loss, destruction, falsification and leakage of personal data. The Foundation will educate its officers and staff on proper handling of personal data.

5. Provision of Personal Information to a Third Party

The Foundation will not provide personal data to any Third Party without the consent of the principal identified by the relevant personal data or unless authorized by applicable laws.

6. Requests Concerning Acquired Personal Information

When the principal identified requests disclosure, correction, suspension of use etc. of the relevant retained personal data under applicable laws and other related legislation, the Foundation will respond properly to such request.

7. Internal Structure of Personal Information Management

The Foundation will establish internal structure to ensure prompt and appropriate response to inquiries and complaints from the principal identified concerning the handling of Personal Information.

February 5, 2020

More Jobs Better Lives Foundation